



# PCR検査等の 検査費助成制度

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や重症化を防止するため、本人が希望して自費での検査を行う場合の費用を助成します。

**対象者** 65歳以上の方、基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患・慢性腎臓病・糖尿病・高血圧・心血管疾患）を有する方で治療を受けている方

※基礎疾患を有することが確認できる書類（身体障害者手帳やお薬手帳の写しなど）または医師の証明が必要です。

**対象検査** PCR検査、抗原定量検査

※保健所が行う行政検査、体調が悪い時に医師の判断により行う保険適用となる検査は対象外です。

**助成期間** 11月2日(月)～令和3年3月31日(水)までに受けた検査

**助成金額** PCR検査（上限20,000円）、抗原定量検査（上限7,500円）

※上限額を超えた分は自己負担となります。

**助成回数** PCR検査または抗原定量検査のいずれか1回限り

**助成方法** 一旦、医療機関の窓口で全額お支払いいただき、後日、助成金を口座振り込みします。

**検査実施医療機関** 市HPでご確認いただくか、地域医療対策課までお問い合わせください。

**検査までの流れ** 65歳以上の方は、直接、電話で検査実施医療機関に予約をしていただき、年齢が確認できる書類を持参の上、受診してください。後日、申請書に領収書等を添付し、提出していただきます。

基礎疾患を有する方は、地域医療対策課までお問い合わせください。対象要件の確認、検査の流れなどを説明します。なお、基礎疾患を有することを確認するため、身体障害者手帳やお薬手帳の写しなどが必要です。確認ができない場合には、医師の証明(文書料がかかる場合があります)が必要になります。

**問**地域医療対策課 ☎22-2279

## 新型コロナウイルス感染症に係る検査について

検査種類	PCR検査	抗原検査		抗体検査
		定量検査	定性検査	
目的	現在感染しているかを判定			過去に感染したかどうかを判定
検体	鼻の粘液や唾液			血液
判定時間	数時間+検査機関への搬送時間	約30分+検査機関への搬送時間	約30分	

※助成金の対象となる検査は、PCR検査と抗原定量検査です。抗原定性検査、抗体検査は助成金の対象とはなりません。



皆さんは「ドローン」や「自動運転」という言葉を聞いたことがありますか。「5G（第5世代移動通信システム）」や「AI（人工知能）」という言葉はどうでしょう。これらは総称して「未来技術」と呼ばれ、国はこの未来技術を活用した取り組みを地方創生や科学技術の伸展に向けた重要政策と位置付け、推進しています。私自身、ドローンを所有し、自ら操縦していますが、「未来技術」はどれも将来のまちづくり、とりわけ地方にとっては有効に活用すべき手段と考えています。

市長 久喜 邦康



「和を以って  
たつと  
貴しと為す」

## 未来技術を活用した取り組み

そこで、関係機関と相談し、未来技術を活用する国のモデルに応募したところ、秩父市の事業案が採択されました。

事業内容は「山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合」をテーマにしたものです。「人とモノの移動」に着目し、市民目線から課題となつている「物流・買い物支援」や「医療体制」、「公共交通の利便性向上」、「災害時の対応」について、未来技術を取り入れながら、地域に根ざした取り組みを推進します。例えば、物流であれば、ドローンを活用すると災害時に限らず、生活物資や医薬品の配送を行うことができます。

医療であれば、コロナ禍で普及が求められる遠隔医療の実現が期待できます。私は県内唯一の医師である市長として、山間地域における遠隔医療の実現に大きな可能性を感じています。

さらに、公共交通であれば、既存の鉄道やバス路線と自動運転などを組み合わせて、市民の方や観光客の皆さんにとって有効かつ多様な移動手段となることを考えられます。

今後、令和6年度までの5年をかけて、国の関係省庁や県、民間企業や地域の皆さんと、未来技術を活用して「住んでよし、訪れてよし」のまちの実現を目指します。